

* 埼玉教会 C.S新聞「いざみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

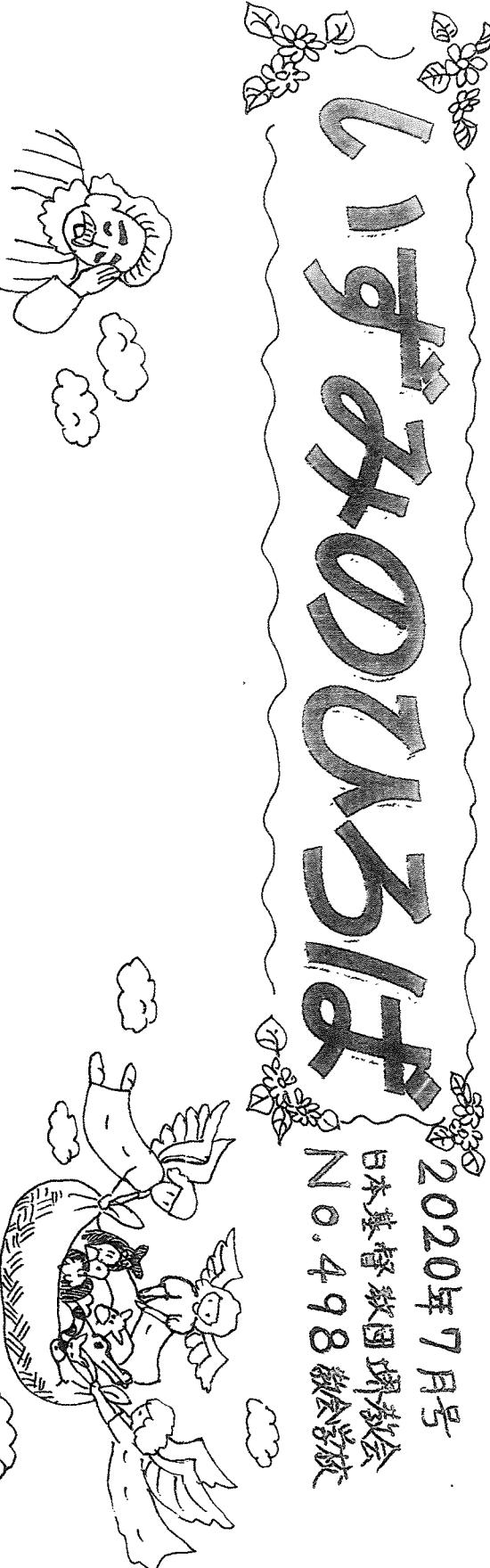
2020年7月号

日本基督教団埼玉教会
No.498 教会学校

いざみのひろば

「ペトロの回心とコルネリウスの救い」

使徒言行録 10:30~35



ある日、ペトロさんに不思議なことが起きました。

お屋の12時くらいに何か食べたいなあと思っていたところ、大きな布のようなものが天から地上に降りてきました。

その中にはユダヤ人であれば決して食べてはならないと禁止されているいろいろな動物が入っていました。(レビ記11章に詳しく述べられています。)

そしてこんな声が聞こえたのです。

「ペトロよ、身を起こして屠って食べなさい。」

ペトロさんは言うんです。

「とんでもないです。食べではない動物も入ってるじゃないですか!」

ペトロさんは考え込んでしまいました。

けれども、ペトロさんはわかったんです。

ペトロさんはユダヤ人。コルネリウスさんは外国人。
当時、ユダヤ人にとつてまたペトロさんにとって、外國人と交際する事は法律違反になつていました。

そんな考え方をしていたペトロさんに神様は見せたんですね。
つまり、食べいい動物と食べてはならない動物とを一緒に布に入れて目の前に見せたんです。

神様の前では、ユダヤ人も外国人(私たち日本人もユダヤからすると外国人です)も関係ない。同じように愛されるんです。
また、私たち一人一人も「あの人は偉い、あの人はもう一つ。あの人はお金持ち、あの人は貧乏。」ちょっとできるからといって偉そうにしたり、人を小馬鹿にしたり、逆に妬んだり。そんなことを思う必要はないんです。
神様の前ではみんな平等です。
神様の前ではみんな平等です。
神様は私たち一人一人を愛してくださいます。